

かんきょうを 考えるコーナー

環境課

今月の環境キーワード

容器包装リサイクル法

消費者は、市町村が定める分別収集基準に従って分別排出します。市町村は家庭から排出される容器包装を分別収集・保管します。事業者は利用した容器包装の量に応じて再商品化の義務を負います。こうして大切な資源を有効活用することで環境に負荷の少ない循環型社会の構築を目指します。

ごみの減量にご協力ください！

平成27年度の当町の家庭ごみ（可燃物）の量は3,131 tでした。

平成26年度の量と比べ約56 t 多くの家庭ごみが出されました。

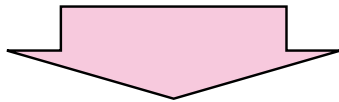
このごみを少しでも減らすため、皆さんのご協力をお願いします。

1. 水切りでごみ減量を！

生ごみの約80%は水分です。生ごみの水分は、腐敗や悪臭の主な原因です。

ごみを出す前に水分を減らす工夫を

- ①水に濡らさない！
- ②しぼって乾かす！
- ③ごみ出し前にひとしぼり！



- ①嫌な臭いが減る！
- ②ごみが軽くなる！
- ③効率よく焼却でき、燃料費が減少する！

ぎゅっと
しぼってね！



2. 生ごみ処理器設置補助金制度の利用

当町では地球に優しく、ごみ減量化に貢献する生ごみ処理器の補助金制度があります。

生ごみ処理器には、電動式・コンポスト・ぼかし容器があり、それらを利用すると、生ごみの排出量がグッと減ります。

■補助金額

- ・電動式
購入金額の3分の1以内
(限度額2万円)
- ・コンポスト式
購入金額の2分の1以内
(限度額3千円)
- ・ぼかし容器
購入金額の2分の1以内
(限度額3千円)

補助金制度の利用については、生ごみ処理器の購入後、役場環境課にあります補助金交付申請書に必要な事項を記入の上、

- ・カタログまたは説明書（コピー可）
- ・領収書（コピー可）
- ・設置後の写真（電気式のみ必要）

を添えて提出してください。

池田町から少しでもごみが減るようご協力お願いします。

今月の

EMポカシの不思議

光陰矢の如し。平成元年に池田町牛乳パックを集める会が発足。パックリサイクルを始めてから30年近い月日が流れた。パックは暖かい国の広葉樹林のバルブと寒い針葉樹林の固いバルブを使って、1リットルの牛乳を入れてもパックがシャーンと立つ構造になっている。と共に、牛乳を入れるので、内部はビニールでコーティングしている。さて、パックが廃棄物になり焼却となった。燃えにくい上に火がついたとき、高熱を発生し、焼却炉の炉壁を痛め「大損害」という頃になって、世論がパックリサイクル派へ動いた。それまでは一閑な人が面倒なことをいう」といった具合。パックを集めても、ビニールをはがす技術が必要と再生工場へ日参したのが、山梨県大月市の平井初美氏であった。そのかたわら、日本中の和紙の産地を訪ねた結果、パックから和紙を創る紙漉きを完成させ、又パックリサイクルが夢でなく、資源に！を見届け、彼女は癌で逝ってしまった。二十八年間、池田町で集めたパックは二百九十トン余。これは、二十年〜三十年の立木五千八百本の森を救ったこととなります。また、ふれあいの家の所生さんたちの手指の訓練に良いと、平井初美氏直伝の手漉き葉書のボランティアかすみ草の会は、牛乳パックを集める会と共に今もその輪を広げています。

●出前 EMポカシの不思議

日時 3月7日（火）、3月14日（火）、3月28日（火）

会場 午前9時30分〜正午まで
リサイクルセンター

●問い合わせ

NPO法人 Waコミュニティ

（石井）☎45・3580、

角田☎45・2039）まで

●EMポカシ販売所

| | |
|---------------|----------|
| JAIびんグリーンセンター | ☎45・0210 |
| 中村種苗 | ☎45・2265 |
| 中野種苗 | ☎45・4851 |
| 富士屋種苗 | ☎45・1087 |
| 道の駅池田温泉農産物直売所 | ☎45・1020 |